

平成30年度アジア拠点広島コンソーシアムによるGSC構想事業【GSC広島】

○ステップステージ第五回セミナー（化学分野）

開催日時：平成30年12月9日（日）10：15開始

場所：広島大学東広島キャンパス 学生プラザ1階・先端物質科学研究科

アクセス：<https://www.hiroshima-u.ac.jp/access/higashihiroshima/>

※遅刻する場合、欠席する場合は12月6日（木）までにお知らせください。

■受付開始（9：45～）【学生プラザ1階】

■異分野融合シンポジウム説明（10：15～10：30）【学生プラザ1階】

講師：西堀 正英（広島大学大学院生物圏科学研究科・准教授）

■ポスター指導（10：30～11：30）【学生プラザ1階】

講師：Christopher Knobler（広島大学大学院理学研究科・客員講師）

■昼食（英語サロン、留学生との交流）（11：30～12：30）

【学生プラザ1階】

■講義・実験「生命の遺伝情報を担うDNA：染色体DNAの抽出とプラスミドDNAの解析」

（13：00～17：00）【大学院先端物質科学研究科】

講師：廣田 隆一（広島大学大学院先端物質科学研究科・准教授）

内容：デオキシリボ核酸（DNA：deoxyribonucleic acid）は、糖、リン酸、塩基から構成される高分子ポリマーであり、生物の遺伝情報を司る遺伝子の本体である。DNAはさらに染色体という高次構造を形成し、生物種によってはさらに複雑な構造に折りたたまれて核や細胞内に格納される。バクテリアには、プラスミドDNAという比較的小さなサイズ（数百～万塩基対）のDNAがあり、染色体とは独立して自律複製する。プラスミドの本来の役割は、薬剤耐性や性（稔性）決定であるが、遺伝子工学においてはDNAクローニングのツールとして使われる。本実験では①染色体DNAを細胞から取り出す実験、②プラスミドDNAのアガロースゲル電気泳動による解析実験を行う。これらの実験を通して、生命の遺伝情報の本体であるDNAの構造や解析手法を理解する。

【お問合せ先】

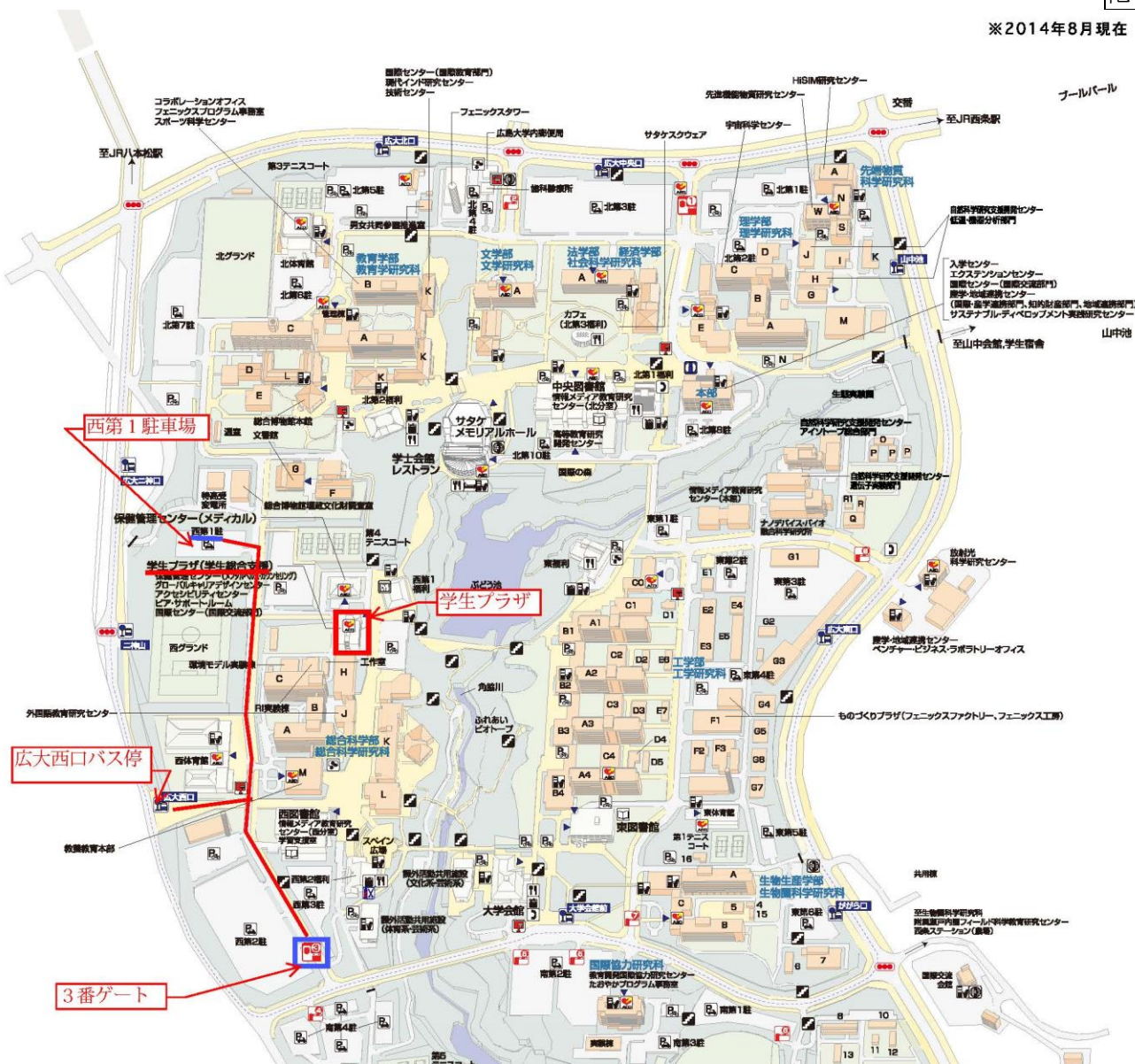
広島大学教育支援グループ内

グローバルサイエンスキャンパス事務局

担当：鳥越、松田

TEL：082-424-4835

E-Mail：kyoiku-kikaku@office.hiroshima-u.ac.jp



【連絡事項】

- セミナー中に写真やビデオ撮影を行います。写真やビデオは、GSC 広島ホームページや報告書に掲載される場合があります。
- 昼食の持参をお願いします。キャンパス内の食堂は営業していませんので、ご注意ください。
- 昼食については教室内でとってもらって構いませんが、弁当のごみは持ち帰ってください。

【持参物】

- 筆記用具
- 実験ノート
- 名札
- 昼食